



みんなで協力！～学校旗・学校紹介作り～



第610号

新潟市中央区浜浦町1の1  
 浜浦小学校  
 電話 (025) 266-3181  
<http://www.hamaura.city-niigata.ed.jp/>

## はためけ！私たちの旗

校長 齋藤純一

感染症対応で、様々な面から大きな変化を強いられてきた当校の児童玄関の軒先に、今年も変わらず燕が戻ってきました。分散登校が始まった頃、二羽の燕が巣作りを終え、ヒナたちのかわいい鳴き声が響きました。本格的な登校になった頃には、ヒナたちも無事巣立ちました。

今年空梅雨かなと思っていた矢先、朝から雨が降ってきた六月中旬のある日。雨を避けるためか、燕たちが軒下の巣に集まってきました。それを見上げた一年生が笑顔で、「校長先生、鳥さんたちが、『あめだ、あめだ』って話しているよ。」と私に教えてくれたのでした。確かに、私にもそう聞こえたような気がしました。

何気ない日常の一コマですが、子どもたちの歓声と燕たちが帰ってきたこと、そして、子どもたちのキラキラした感性が学校に帰ってきたことが感じられて、とてもうれしくなりました。

さて、今年度も伝統の学級旗作りが行われました。自分たちの学級のシンボルとなる「旗」を、全学級で作りました。

六年二組の学級だよりから。「佐渡体験学習の準備も進んでいます。学級旗の製作も並行して進めてきました。実行委員五人とデザイナーの発案者が、休み時間を上手に使って旗を作ってくれました。細かな部分の色塗りや、修正をして、昨日ついに学級旗が完成しました。実行委員が丁寧に色を付けて書いた部分に加えて、発案者が筆を使って書

いた『努力』『協力』『全力』、そして『三力』が映える、素晴らしい旗になりました。学級旗づくりをしてくれたみなさん、ありがとうございます。」

四年一組の学級だよりから。「今年度の学級旗お披露目は、各学級の紹介をビデオで撮り、テレビ放送を通して全校で楽しむことになりました。四年一組では、何度かの学級会議を開き、学級旗作成チーム、替え歌ダンスチーム、道具作成チーム、お笑いで紹介チームに分かれ、協力しながら取り組みました。自然とリーダーシップを取りながら声掛けする子や、それぞれの得意を生かしながら分担して作成する様子を見てみると、三十二人が集まり、一つのことに一生懸命になっている姿は、本当に素晴らしいなあ、幸せだなあと、微笑みながらカメラのシャッターを押してしまいました。」

当校では、子ども一人一人を大切にするとともに、学級という集団も育てています。日々生活を共にする学級集団は、誰もが居場所のある温かいもので、互いに力を伸ばし、高め合うものでもあります。その自分の所属する学級をこうしていきなると子どもたち自身が考え、みんなで話し合い、その願いを「旗」に表し、常に飾っていくのです。

この感染症との戦いに勝つために、今こそ「集団での協働」が必要だと考えます。この「旗」のもと、共に力を合わせて、共に助け合って学んでいきます。